

北九州市立もじ少年自然の家指定管理者検討会 会議録

- 1 開催日時 平成29年10月18日（水） 10：00～11：30
 - 2 場 所 北九州市役所11階 112会議室
 - 3 出席者 （ 検討会構成員 ）
恒吉構成員、伊藤構成員、荒川構成員、板橋構成員、大和構成員
（ 事務局 ）
子ども家庭局 青少年課長、管理係長、担当職員
 - 4 会議内容
(1) 事務局の提案、構成員の互選により座長を選出（恒吉構成員）。
(2) 議事次第、選定基準、採点上の注意事項等について、事務局より説明。
- 応募団体（玄海グリーン&アドベンチャー共同企業体）から、提案概要に関してプレゼンテーション(提案書の内容につき説明)。

○ 応募団体との質疑応答

- （構 成 員） 利用者数・利用団体数とも伸びていることは高く評価できる。ただ、社会教育施設の役割として、リピーターの団体のみならず、新しい青少年団体の組織化、育成も大事だと考えている。これまでの運営の中で、そうした実績、あるいは今後そういった取組みを行う考えはあるのか、お聞きしたい。
- （応募団体） 現在、施設にボランティアサークルはあるが、新たなサークル等を作るという活動は行っていない。しかし、4施設（もじ、玄海、かぐめよし、ユースステーション）の連携において、他団体とのネットワークが広がっており、その中でいろいろな施設利用の機会を提供している。
- さらに、門司区のような地域団体との連携も積極的に行っており、そうした活動を通じて、より広い層へのもじ少年自然の家のPRを行い、新規団体の利用促進に繋げていきたいと考えている。
- （構 成 員） 地域の方々等、より多くの人にボランティア活動などに積極的に参加していただき、施設のPR、利用促進のみならず、生きがいを提供することもお願いしたい。安全管理の徹底という面からは難しい部分もあるだろうが、努力してほしい。
- また、現在、4施設の指定管理を請け負っている状況であるが、施設間のネットワーク連携以外で、その状況を活かす取組みについては考えているか。

(応募団体) 4施設間の連携により、1施設単独では成し得ない様々な事業の実施が可能となっている。各施設の職員が往き来することにより、施設内だけではなく、施設外での地域活動等の機会が増え、活動のチャンネルが広がってきている。

(構成員) 一般的に、指定管理料を抑えた運営は評価できるものの、質の高いサービスを提供するためには、人件費の水準・昇級の保障は重要である。人件費を上げていくための新たな仕組み・工夫などは考えているか。

(応募団体) 現在の職員は継続雇用の者も多く、安全管理やプログラムの質を落とさずに、限られた指定管理料の中で人件費を上げていくことは大きな課題である。マルチタスク化や施設間の職員派遣等を通じ、効率的な人員配置を行うよう考えている。収益が出た場合は、優先的に職員へ還元したい。

(構成員) 継続して働きたいけど、結婚など諸事情によって働き続けられないなど給与水準の理由によって転職していくのは、育成した優秀な人材の活用を活用できていない仕組みとも考えられる。継続した契約になった場合、職員の継続雇用や昇級を確保するために、「こういう仕組みとかはできないか」と提案していただくと、そこを考慮した仕組みだとか予算について考えるきっかけになると思う。本市の指定管理者制度が、より良いものになるよう、機会をあらためて、そうした意見も遠慮なく伝えるように心がけてもらいたい。

(構成員) カヌースクール九州については、28年1月期と比較して、29年1月期は減益になっているが、この理由は何か。

(応募団体) 指定管理業務以外に、外部からの依頼を受けて指導者養成事業も行っているが、安定的な受注があるわけではないため、その影響である。

(構成員) 決算について、昨年度減価償却費として94万5千円挙がっていたものが、今年度はゼロになっている。償却資産がある以上、減価償却費は継続的に計上されるべきものである。決算についてはありのままを明示し、問題があれば次にどうするかということが大事である。

(応募団体) まず、固定資産が少ないため、計上額が大きくないことがある。それに加えて、売上げが不調に終わったため、税理士と相談の上、今期の計上は見送るという判断になった。

(構成員) 指定管理者による施設運営になってから、職員の接客対応や施設の設備等、施設全体が良い方向に変化してきていると実感している。次世代を担う青少年育成という理念に対する職員の方々のプロ意識がそうさせているのだと思う。

(構成員) 各施設とも、地域性を活かしたプログラムを組んでいると思うが、利用する団体としては、交通の面など利便性の良い施設を繰り返し利用す

ることが多いので、あまり利用する機会のない他施設のプログラムについては詳しくない。各施設のプログラムについてよりPRしてもらえば、指導者としても選択肢が増え、各施設の利用に繋がっていくと思うので、検討してほしい。

（構 成 員） 立地的に公共交通の便が少ないため、利用しづらい面もある。玄海青年の家にはマイクロバスがあると聞いているが、その活用についても検討いただければと思う。

（構 成 員） 各施設とも立地条件を活かした特徴があり、子どもたちがそれぞれの施設で様々な体験ができる機会が与えられているという現状はとても良いことである。

（構 成 員） 人件費の抑制について、マルチタスク化や他施設との協同など、いろいろと工夫されていると思う。ただ、最近は過重労働が社会問題化しており、何かあると企業の信用問題にも繋がるため、職員の方々の健康面には十分留意していただきたい。事務処理、内部処理についてはIT化等の手法で効率化を図り、子どもたちと接する時間をより長く確保できるよう努めていただきたい。

【 質疑応答終了。応募団体退席。 】

- 構成員は、提案概要のヒアリングと質疑応答を受けて各自得点を記入。提案についての意見交換・評価を行い、委員会として、各項目の評価レベルを決定。
- 事務局は合計得点を発表し、検討会としての検討結果（総合的な所見）について協議した。
- 意見交換を行った後、最終的な取りまとめを行い、検討会を終了した。